



中田小

平成27年10月30日

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



笑顔の連鎖

校長 蒲谷 猛

『手のひらを太陽に』

作詞：やなせたかし

作曲： いずみたく

わたしたちは、人とコミュニケーションをとるとき、言葉よりも言葉以外の要素からより多くの情報を得ていることがわかっています。ある心理学者の研究によると、人が他人から受け取る情報の割合は、顔の表情から得るのが55%、声の質・大きさ・テンポから38%で、話された言葉から得るものは7%に過ぎないという実験結果が示されているそうです。

特に、「笑顔」からはプラスの情報を敏感に、しかも強く受け取ります。人の笑顔を見ると、思わず自分もほほ笑んでしまうことがありますよね。「笑顔」には、言うまでもなく、緊張を和らげ、気分を高揚させる効果があります。また、気持ちに余裕が生まれ洞察力が高まります。「笑顔」を広げるだけでなく、このような効果も次々と広がっていきます。「笑顔」の連鎖が広がると、人間関係の深まりやタスクの達成度向上にも好影響を与えることは間違いありません。

過日の運動会に際しましては、ご多用のなか、多くのご来賓、地域の方々、保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。自画自賛とのご指摘も覚悟で言えば、今年度の運動会の印象は、まさに「笑顔あふれる」でした。なかでも、各学年の表現においては、笑顔いっぱい演技する子どもたちの姿が目前に広がって、微笑ましいかぎりでした。この「笑顔」には、踊っていて楽しい気持ちのほかに、自分たちの演技に対する自信や誇りがあるように思えてなりません。その演技を多くの方々に見ていただくことができ、たくさんの拍手をいただいているんですから、笑顔にならないわけはありません。ご覧いただいている皆様の間にも笑顔が広がっているように思いましたが、いかがでしたでしょうか。

わたしたちは接触の多い人の表情に大きく影響されています。大人でもそうですから、感受性豊かな子どもはさらなりです。笑いの多い人に接すると、笑顔が多くなるものです。多くの時間を子どもたちと共有するわたしたち教職員の笑顔について、改めて考えさせられました。笑顔あふれる学級・学年、笑顔あふれる学校ならば、子どもたちも大きく成長してくれると思えるからです。

今回の運動会で見せてくれた子どもたちの笑顔を、これからの学校生活のなかでさらに広げていくことができるよう努めてまいります。教職員⇄子ども、子ども⇄子ども、そして、保護者の皆様や地域の方々にも笑顔の連鎖が広がるように。

1 ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 歌うんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているからかなしいんだ  
手のひらを太陽に

すかしてみれば

まっかに流れる ぼくの血潮  
ミミズだって オケラだって  
アメンボだって  
みんなみんな生きているんだ  
友だちなんだ

2 ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 笑うんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているからうれしいんだ  
手のひらを太陽に

すかしてみれば

まっかに流れる ぼくの血潮  
トンボだって カエルだって  
ミツバチだって  
みんなみんな生きているんだ  
友だちなんだ

3 ぼくらはみんな 生きている  
生きているから おどるんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 愛するんだ  
手のひらを太陽に

すかしてみれば

まっかに流れる ぼくの血潮  
スズメだって イナゴだって  
カゲロウだって  
みんなみんな生きているんだ  
友だちなんだ